

令和5年度入学試験問題（前期日程）

小論文

初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム 家庭系科目

中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 家庭専攻

解答例（あるいは出題の意図）

（問1）

【出題の意図】

家庭科の教科書に記載されている基本的な知識が習得できているか。

【解答例】具体例は一つ以上挙げられていればよい。

批判的意識を持つ責任とは、自分の身の回りにある製品やサービスについて多角的に情報を収集・分析し、偏りのない思考で意思決定したり、意見を述べたりする態度である。具体的には製造にあたって労働搾取や動物実験などが行われていないか、広告宣伝は適切か（過剰な広告や誇大広告ではないか）、弱者を狙った悪質な契約になっていないか等を考え、自分が使用する製品を選んだり、事業者に対して意見を述べたりすることが挙げられる。

（問2）

【出題の意図】

データを適切に読み説き、20歳未満の若年者と高齢者の生活上の課題を把握することができている。

【解答例】各年代は一つ以上課題が述べられていればよい。

20歳未満はインターネットゲームが最も多く、親のクレジットカードなどを勝手に使用した高額決済などのトラブルが予想され、クレジットカードの仕組みについて十分理解できていない。

高齢者は若年者に比べて相談の件数が多く、認知能力の低下や、心身の健康に対する不安から消費生活上のトラブルに巻き込まれやすいことが懸念される。

高齢期になると住宅設備が劣化したり、身体の不自由を理由にリフォームや改築が求められたりする。そのため、工事や建築に関する消費者トラブルにも巻き込まれやすい。

（問3）

【出題の意図】

消費生活上のトラブル事例や悪質商法、健康被害、環境問題など現代の課題について時事的なトピックスに対して関心を持ち、内容を理解できているか。

挙げられた課題に対して、具体的な解決策を論理的に提案することができているか。

【解答例】

現代の消費生活上の課題として、若年者のスマホゲームの高額決済が挙げられる。親の知らない

ところで、クレジットカードを使ってたくさんアイテムを購入したり、ゲームを購入したりしてしまうケースがある。クレジットカードは現金のやり取りではないため、気軽に購入することが可能である。また、低年齢ではボタンを押すだけで購買行動であることに気付かず手続きを進めてしまい、手続きが完了してしまう事例も確認されている。

ゲーム会社によってはペアレンタルコントロールでアイテムやゲームを購入できない設定ができる。スマートフォンではクレジットカードの情報を端末に保存しない、決済前にパスワード確認をするように設定することが必要である。どのようにスマートフォンやタブレットを使うか家族でルール作りをして、相談しやすい環境をつくることもトラブルを未然に防ぐ方法であると考えられる。家庭科の授業でも、お金や時間の使い方と、メディア利用について関連付けて学習する機会を設定したい。